

平成 27 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	奈良精神科作業療法勉強会
活動テーマ	被災地の心身障害児を対象とした宿泊体験



当研究会の主な目的は専門職としての知識・技術の向上である。当研究会も発足 10 年が経過し、研究会メンバーの知識・技術を社会に還元したいと考えた。福島県の子供たちは外で遊ぶ機会も減り、運動発達が遅れがちであると新聞でも報道されていた。また、全国各地から招待を受け、各地の子供同士の交流の様子もよく報道されている。しかし、病気や障害を抱えた子供たちへの招待は少ないと推察される。その為、作業療法士が、病気や障害を抱えた子供たちを奈良に招待し、共に過ごし参加した子供たちに楽しい思い出を提供したいと考えた。

福島の支援センターに依頼し参加児童の募集を行った。小学校高学年の自閉症や発達障害、知的障害を伴う 5 名の男児を対象に奈良一泊体験を実施した。参加児童の特性を聴取し、環境設定や宿泊体験のイベントを企画した。個別担当制で実施し計 10 名のスタッフで奈良公園オリエンテーションやアルバム作成などを行った。実施後のアンケートでは、宿泊体験での体験の感想や次回の参加希望について、楽しかったまた参加したいという回答が多く得られた。参加児童たちは個別担当スタッフが配置されていることや参加児童の特性を踏まえた事前準備により、他の参加児童やスタッフと楽しく交流しながら安心安全に宿泊体験が実施できた。また、保護者から“参加したことで初めて親元から離れて集団で過ごせた事が自信につながり、その後の学童生活にもいい影響となった”とアンケートの自由記載の欄に回答があり、宿泊体験を通して児童たちの活動範囲が広まり今後の成長の足がかりになった。